

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成22年11月9日 第42号
浜田市農林業支援センター

はじめに

収穫の秋を迎えておりますが、夏季の少雨とかんばつは、様々な作物に影響を与えており、地球温暖化の怖さを実感せざるを得ません。食糧を安定的に供給する社会的使命を担う農業ですが、再生産を支える農業所得が得られなければ経営が成り立たないことは明白であり、農業と農産物を必要とするのは農家だけでなく消費者そのものです。今こそ、農産物の輸入に依存しない農業の確立が求められており、当支援センターも自給率の向上に努めてまいります。（浜田市農林業支援センター長 三浦 和成）

1. 各支援チームからの話題

新規就農支援チーム（担当：前原^{まえばら}・山本^{やまもと}）

西条柿先進地視察 in 平田

10月6日、浜田市西条柿栽培講座の一環として、出雲市平田町を中心とする産地の取組を視察しました。

当日は、県東部農林振興センター出雲事務所の板垣普及員に案内役をお願いし、平田西条柿の栽培状況や生産部会が主催する新規就農者育成講座について説明していただきました。

参加者からは「かんばつなどの悪条件でも管理方法によってはしっかり育つことが分かった」「ハウス栽培の西条柿を初めて見て、大玉できれいな果実に驚いた」といった感想が聞かれました。

他産地の取組に触れた今回の視察は、栽培講座の受講生はもちろん、私たち支援機関の職員にとっても大きな収穫になりました。



認定農業者支援チーム（担当：松井^{まつい}・前原^{まえばら}）

「あぐりこるWEST」本誌初登場！



今年7月に(株)中電工の子会社として設立され、認定農業者となった合同会社あぐりこるWESTが、金城町の新開団地でいちごぶどうを中心とする観光農園の整備を進めています。

現在は、いちごのハウス2棟の建設が完了し、来年1月の開園に向けて苗の定植を終えたところです。今後はぶどうのハウスを整備するなど、徐々に規模を拡大しながら、隣接する(有)KKN（きんた農園ベリーネ）と連携した事業展開を計画しています。

KKNや県農業技術センターの指導のもと、栽培技術の習得に励む浜田営業所長の吉岡正夫さん（写真）は「いつ訪れても楽しめる観光農園になるよう、栽培品目を増やしたい」と話しておられます。

集落営農組織支援チーム（担当：鎌原^{かまはら}・山本^{やまもと}）

タマネギの栽培説明会

浜田市の集落営農組織では、昨年度より、産直店舗などに出荷する野菜の栽培に取り組んでいます。

今年度も引き続き栽培が行われていますが、そのうちのタマネギの説明会を10月8日（金）にJAいわみ中央農産課が開催しました。

現在の浜田地方でのタマネギの作付面積は2ha程度ですが、将来的には4.8haを目標に生産を拡大していく計画です。

今年は、金城町の農事組合法人ひやころう波佐などが取り組むこととしており、11月から順次定植が始まります。また、今月中旬には機械移植の実演会を行う予定としています。



ひやころう波佐の圃場
（今年の春の様子）

2. 「B級グルメフェスティバル」が開催されました

11月3日に浜田漁港で開かれた恒例の「BB大鍋フェスティバル」の会場内で、旧浜田市制70周年と新浜田市制5周年を記念する「B級グルメフェスティバル in 浜田」が同時開催されました。

このイベントには、静岡県の「富士宮やきそば」をはじめとする全国的に有名なご当地グルメに加え、地元浜田市の「赤天ドッグ」や浜田水産高校が開発した「カレーバーガー」など、あわせて10店が集まりました。

認定農業者の(有)KKNも出店し、いちごとピオーネのアイスクリームや、米粉が入ったたい焼きなどを販売。天候に恵まれて来場者が多く、アイスもたい焼きも飛ぶように売っていました。



開店前のKKNの屋台。この後大行列が押し寄せました！

3. 【お願い】遊休農機具の情報をお寄せください

当支援センターでは、遊休農機具情報を募集しています。

不用になった農機具の有効活用を図ることは、売り手と買い手の双方にメリットがあります。他の方にも譲っても良い農機具があれば、当センターまでご連絡くださいますようお願いいたします。

特に、以下の農業機械の情報を求めています

トラクター 動力噴霧機 エンジンポンプ うね立て機 運搬車

なお、前号で紹介した『しいたけドリルを譲ります(ガソリン発電機、延長コードを付けて3万円)』は、引き続き購入希望者を募っています。

先着順となりますので、興味のある方はお早めに当支援センターまでご連絡ください。

4. ご注意ください(毒性のあるキノコ・クマ)

毒性のあるキノコ「クサウラベニタケ」「ツキヨタケ」「ニガクリタケ」による食中毒が増えています。厚生労働省の発表によると、今年10月の発生件数は全国で60件を超え、例年の2～3倍となっています。夏場の高温、その後の気温低下と降雨がキノコの生長を促したものと思われます。食用だと確実に判断できないキノコは、絶対に採ったり食べたりしないでください。

ところで今月、飯南町でキノコ狩りをしていた男性がクマに襲われて怪我をするという事件が起きました。浜田市内でもクマの目撃情報が相次いでいます。山林に入る場合はクマが出没しやすい早朝や夕方を避け、できるだけ2人以上で行動するなど、被害防止に努めてください。

編集後記

いよいよ「第13回全国農業担い手サミット in しまね」が開催されます。このサミットは、出雲市の県立浜山体育館を会場とする全体会と、県内13地域での交流会の2部構成となっています。

我が浜田江津地域には11月9日(火)に全国の農業担い手や関係者約110名が集まり、新開団地や田橋町の扇原茶園などを視察されます。その夜は浜田ワシントンホテルでの情報交換会、そして翌10日(水)に出雲市に移動し、皇太子殿下ご臨席のもと、全体会が行われます。

この原稿を書いているのは、サミット本番を数日後に控えた準備の最終段階です。県外からのお客様はもちろん、ご協力くださった地元の皆さんにも満足していただける有意義なイベントにしたいと思います！

当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp